

= ニュースレター (2017年3月号) =

エンジニアリング、マニュファクチャリング、メンテナンス



愛媛事業所電計保全部長の寺尾 教正 (てらお のりまさ) です。

私は1974年に東レ(株)愛媛工場に入社し、1980年から滋賀事業場に勤務、1992年に愛媛工場に戻り、2009年から関西ティーイーケー(株)に転籍して現在に至っています。

愛媛事業所の保全部は「工程安定化」を目的にお客様である東レ(株)の生産設備の保全業務を行っており、ゼロに拘り、損失ゼロを必達すべく、東レ(株)工務部と一体となった「ゼロトラブル活動」を推進しています。そのためにも、保全マンのスキルアップが必須であると考え、2015年度からeラーニングによる教育、自己啓発としての国家資格取得奨励など、人材育成^(※)に力を入れています。

今後とも、新たな仕掛けを考え・実践することで、会社としての体質強化を図り、客先からもさらに高い信頼を得られるよう努めて参りますので、よろしくお願い致します。

^(※) 弊社では人は財産ととらえ、人材を「人財」としています。

“トピックス”

2017年 1月27日/2月14日

CSR^(※)セミナー/人権研修 開催



東レ(株)CSR推進室から講師を招き、「CSRセミナー」を1月27日(金)に開催しました。東レグループのCSRの概念をもとに、まず法令遵守、そして企業倫理、安全、防災、人権、人財、リスク、地球環境問題などへの取り組みが社会貢献の基本であり、持続的発展という考え方が求められるということ、解りやすく解説していただきました。当日は、当社の3拠点(滋賀、北陸、愛媛各事業所)をWeb会議で中継し135人が聴講しました。

「企業は社会の公器である」ということを強く意識し、社会貢献活動にも積極的に努めていく必要があるということを受講者全員が認識しました。

^(※) CSR : Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任)

(担当部署 : 企画管理部 Tel : 077-534-0956)

また、昨年からスタートした東レ(株)人権推進課長による人権研修を2月14日(火)に開催しました。

CSRセミナー同様に3拠点をWeb会議で中継し、93名が受講しました。職場における人権問題を中心に、東レグループの事例紹介、更には人権問題をめぐる世間の動向や東レ(株)の対応について、DVDの視聴を交えながら学習しました。

(担当部署 : 総務部 Tel : 077-534-0956)



2017年2月10日

J I P M (日本プラントメンテナンス協会) 人材育成・教育フォーラム2017での発表



「人材育成・教育フォーラム2017」が富山国際会議場大手町フォーラムで2月10日(金)に開催されました。今回、初の北陸開催という事もあり、JIPM北陸地域の保全研究会(メンバー企業11社)を代表して弊社石川保全室とアイシン軽金属様との合同で「きとときと保全研究会のこれまでの取り組み」について発表しました。

内容は総合保全力向上を目的に北陸地域の様々な業種の保全担当者が集結し、各社の人材育成・教育事例や設備保全の失敗事例から得た教訓、ゼロ方程式導入事例などの活動成果です。フォーラム終了後には発表者と参加者との交流会もあり、多くの方々と意見交換・情報交換ができ、大変貴重な機会となりました。

(担当部署:北陸事業所石川出張所 Tel:0761-51-7510)

2017年2月17日

滋賀県立瀬田工業高等学校の生徒によるものづくり現場見学会

滋賀県立瀬田工業高校2年生40名、引率教諭2名による弊社機器部の口金製作工場と電製部制御盤組立工場のモノづくり現場の見学会を実施しました。口金工場では大型工作機による金属加工現場、制御盤組立工場では組立工程の説明および配線作業途中の製品を見学していただきました。

見学後の質疑応答では、仕事をする上で心がけている事や仕事のやりがいなど、モノづくりへの姿勢を問う質問などもあり受け入れ側にとっても改めて仕事へ取り組む姿勢を問われる有意義な時間となりました。

(担当部署：機器事業本部電製部 Tel：077-534-4739)



～まめ豆知識～ 『きときと』とは？

TOPICSでご紹介した『きときと保全研究会』ですが、そもそも『きときと』とは何だろう？と疑問を持たれた方もいらっしゃると思います。

『きときと』とは富山地方の方言で生き生きとした、取れたて、新鮮な状態という意味です。

例文：この魚は新鮮だ → こん魚はきときとや

あの人は生き生きした人だ → あん人はきときとの人や

富山で新鮮なお魚を食べる機会がありましたら、ぜひ使ってみて下さい。

